

身近につながる、未来へつながる課題解決学習

— 「堀川」を中心とした体験活動を通して—



名古屋市立八熊小学校 校長 中村 多賀子

〒454-0013 名古屋市中川区八熊一丁目8番30号

TEL 052-331-0181 FAX 052-322-7382

URL <http://www.yaguma-e.nagoya-c.ed.jp/>



事業のねらい

身近な環境から見つけた課題を、体験を通して解決することで、未来の地域環境へのつながりを見出すことができるような学習（課題解決学習）を行いました。

「身近な環境」として、地域を流れる「堀川」を中心に海や他の河川の生物を教材としました。また、将来地域を支える子どもたち同士が関わりながら活動できるようにしたり、地元の方や専門家の方の協力で学習できるようにしたりして実践を進めました。

この学習を通して、自ら課題を見つけ、解決しようとする子どもを育てたいと考えました。

事業の内容

他の河川との関連

木曾川・長良川の生物と比べて…

「アクア・トトぎふ」で生物を観察したり、話を聞いたりしました。



【生物を観察する様子】



【専門家の方に堀川と木曾川・長良川について話を聴く様子】

「堀川」での学習

生物を季節ごとに調査・観察しました。その体験を通して、課題を見付けたり、解決したりしました。



【生物を調査する様子】



【生物を観察する様子】

海との関連

海の生物と比べて…

名古屋港水族館で海の生物を観察したり、地元の方の協力で魚に触れたりしました。



【生物を観察する様子】



【魚に触れる体験の様子】

事業の成果

「堀川」を中心とした体験活動から…

「水が汚い」「臭い」そんな堀川に「生き物はいない」と予想した子どもが、堀川の護岸の隙間にカニを見つけると「生き物がすめる川なんだね」とうれしそうに語る姿が見られました。

堀川と木曽川・長良川を比べた子どもからは、相違点だけでなく、「どちらにも外来種がいることが分かって驚いた」と共通点にも着目する声が聞かれました。

全校で名古屋港水族館を巡った時には「これは堀川にもいる魚だよ」と教え合う自然な関わりが見られました。

地元の中央卸売市場の方に持ってきてもらった生きている魚の中にボウがいることを教えてもらおうと「堀川にもいるけど、食べられるのかな」と新たな課題を見付ける子どももいました。

堀川のヘドロをすくっている様子を見た子どもからは「きれいになるといいな。どうしたらいいのかな」と身近な環境を改善しようとする発言が聞かれました。



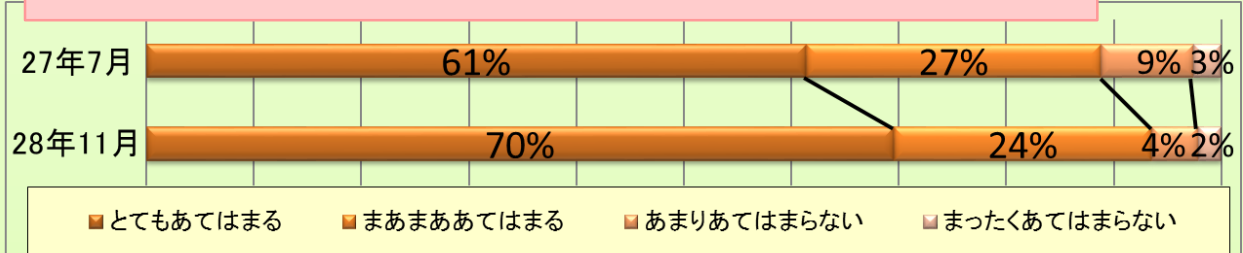
【堀川で生物を探す様子】



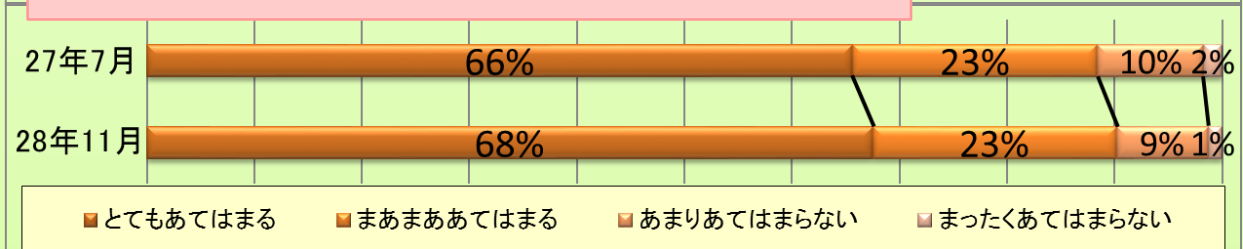
【堀川や木曽川・長良川について質問する様子】

平成27年7月と平成28年11月にアンケート調査を行いました。(対象:平成28年度2~6年生)

1 「なぜだろう」と思ったことを自分で調べたり、確かめたりする学習が楽しい。



2 授業で友達と一緒に考えたり、話し合ったりすることができた。



アンケート結果から、多くの子どもが課題解決学習への楽しさを感じたり、友達と関わりながら活動に取り組めたと考えたりしていることが分かりました。

事業のまとめ

堀川の生物に関連した体験活動では、身近な環境に目を向け、未来の環境について考え、よりよくしていこうとする意識を高めることができました。また、このような実践を通して、自ら課題を見つけ、解決しようとする姿が見られました。

現在は、課題解決を進める上で必要な「自分の考えを表現すること」に力を入れて実践を進めています。今後も、自分たちの未来の環境について考え、発信したり行動したりできるような実践を積み重ねていきます。